



安全就業ニュース



すべての災害は防ぐことができる

当センターで
賠償事故が発生

8月28日(月) 8:45頃

剪定作業中、つまづき転倒しかけたため、倉庫のガラス戸に手をついた。その際に、戸が倒れガラスを破損させた。

※会員に怪我はありませんでした。十分に注意して就業をお願いします。



全国シルバー人材センター事業協会より (R5.8)

「自分の安全は自分で守る」という意識をもって作業に当たしましょう！

- ・剪定作業において三脚を設置する場合は、作業する場所の周りの状況をよく確認し、チェーンをしっかり固定してから作業を実施してください。
- ・三脚に登り低い場所で作業をしても、バランスを崩して足から飛び降りて着地すると高齢者は、筋力の低下などにより踵などを骨折しやすくなります。



剪定作業では必ず保護帽(ヘルメット)を
被ってくださいね。約束だよ！

- ・高齢者の踵骨折は複雑骨折になり易く、歩行時痛、坂道や凸凹道等の安全歩行が困難になり、長時間の立位が困難になることから高所での作業が不可能となります
- ・入院期間が長期間にわたることが多く、後遺障害を残すことも多いことから、退院後に通常の生活に戻ることが困難になりますので、くれぐれも気をつけてください。



アクセルとブレーキの踏み間違いに注意しましょう!!



早朝、就業先に向かう途中に立ち寄ったコンビニの駐車場で、アクセルとブレーキを踏み間違えて、トラックに衝突し、その弾みで畑に転落した事故が起きました。双方に怪我はありませんでした。季節の変わり目は、体調が変化しやすいので、体調の管理をしっかりとしましょう。

【加齢による身体的な衰え】

↓ ↓
高齢者がブレーキとアクセルを踏み間違える理由は股関節の硬さやパニックが原因
・視覚機能の低下 ・集中力、注意力の低下 ・情報処理能力の低下や間違い ・体の柔軟性の低下
・反射神経の鈍化 ・身体の敏捷性の低下(素早く思ったとおりに動けない)

お客様から、お礼の声が多数寄せられています。そのうち1件ご紹介します。就業先：久米町のお客様より

「人手不足で人員が不足してるなか、食器洗いを一生懸命にいただき助かっています」とお礼の電話をいただきました。

発行：公益社団法人米子広域シルバー人材センター 〒683-0811 米子市錦町1丁目110

電話 0859-32-2633 FAX 0859-32-5823 E-mail yonago@sjc.ne.jp

ホームページ <https://yonago-sjc.net/> フェイスブック <https://www.facebook.com/yonagosc>



安全はすべてに優先する

～ 安全就業の心得 みんなで守ろう10箇条 ～

- ①日頃から健康管理に努め、常に健康な状態で就業しましょう。(年に1回は健康診断を)
- ②仕事の前日は十分に睡眠をとりましょう。
- ③服装・履物・保護具はそれぞれの作業に適したものを着用しましょう。
- ④仕事を始める前には準備運動をしましょう。
- ⑤保護具や器具類は使用する前に必ず点検しましょう。
- ⑥加齢による身体の機能低下を十分認識し、無理をしないようにしましょう。
- ⑦仕事をするときには急いだり、慌てたりせず、安全第一を心がけましょう。
- ⑧就業の場は常に整理整頓を心がけましょう。
- ⑨共同で仕事をするときには、合図・連絡を正確に行いましょう。
- ⑩行き帰りも仕事のうち、交通事故に遭わないようにしましょう。



就業上の注意事項について

～発注者からのクレーム、トラブルを防ぐために～

1. 発注者との事前の打ち合わせは必ず行ってください
「作業日時」「作業時間」など、丁寧な説明を心がけてください。
2. 就業報告書は正しく記入し、早めに提出をお願いします。
※白紙の就業報告書に押印を求める行為は、絶対にしないでください



センターが受注処理していない仕事を終了し、就業報告書の提出がなされた場合は、「無届就業」であり、センターが受注し会員に提供した仕事に該当しません。
このことは、明確な「センター就業規約」違反であり、最終的には、定款に基づき処分の対象となるような重大な規律違反です。

また、センターが受付をしていない「無届就業」についての事故やトラブルは、センターの評判を下げるだけではなく、対応についても各会員の自己責任で解決していただくこととなります。また、シルバー保険も適用されませんので、厳に慎んでください。

発注者から直接仕事を依頼された場合は、必ずセンター事務局に連絡をするか、発注者から直接事務局へ申込みをするよう説明してください。

安全はすべてに優先する・・・声かけを行うなど周囲の状況を確認しながら作業を行ってください

◎仕事をするときには急いだり、慌てたりせず、安全第一を心がけましょう

◎共同で仕事をするときには、合図・連絡を正確に行いましょう

脳梗塞 ... 顔や言葉の異変、すぐ119番



脳の血管が突然詰まって、血流が途絶え、脳の神経細胞が死んでしまう病気です。脳の細胞は、突然血流が止まると数時間以内に完全に死んでしまい、再生は困難なため、一旦脳梗塞を起こすと重大な後遺症が残ったり、生命に関わることもあります。

一刻を争いますので、異変があればすぐ119番通報を！

※事故が発生した場合、すみやかに事務局に電話連絡してください(☎0859-32-2633)

一刻を争う場合は、迷わず「119番通報」して救急車を呼んでください

